

山形県天童市・現地体験レポート

1. 活動概要

『食の都・天童市のふるさと納税と果樹産業の魅力を学ぶ』

天童市では、フルーツやお米、畜産物や地酒などの特産品をふるさと納税の返礼品とし、地域の特色を活かした納税制度を展開しています。現地体験では、一つ目のテーマとして、ふるさと納税制度について学びました。市役所のふるさと納税推進室からは、ふるさと納税の制度概要や、同市の現状や課題、ふるさと納税を推進することで得られる地域産業への効果などについてレクチャーを受けました。その後、現場を学ぶことを目的に、将棋駒を生産する「中嶋清吉商店」や「天童木工」、「JA てんどうフーズ」など、納税者への返礼品を提供する事業所を視察しました。また、宮城浩蔵の功績を学ぶ機会として、同市の旧東村山郡役所資料館において、展示をもとに資料館館長の解説を受けました。

現地体験の後半は、ふるさと納税の返礼品としても多くの割合を占める天童市の果樹産業を学ぶために、「王将果樹園」において職場体験を実施しました。観光果樹園として事業を展開している同園では、加工品に使うぶどう狩りや出荷作業のほか、ショップやカフェにおいて接客や商品づくりを体験し、消費者のもとに果物が届くまでに多くの人の手と苦労があることを学びました。

詳細は、参加者がまとめた次ページ以降の成果物をご覧ください。

2. 現地体験スケジュール

- 9月13日（水） 夜行バスで天童へ出発
- 14日（木） ふるさと納税制度の仕組み・現状・課題を学習、返礼品提供事業所視察
- 15日（金） 自由行動（天童市内視察）、市内事業者との懇談会
- 16日（土） 王将果樹園での職場体験
- 17日（日） 王将果樹園での職場体験、終了後自由行動、夜行バスにて帰京
- 18日（月） 東京到着、解散



市役所でふるさと納税制度のレクチャー



宮城浩蔵胸像前で記念撮影



資料館で宮城浩蔵の功績を学ぶ



ふるさと納税の返礼品を提供する市内の事業所を視察



王将果樹園での職場体験。果樹の収穫だけでなく、接客や果樹園の土壌づくりも体験